

「New草津型アクティブ・ラーニング」 の実践支援事業

【1人1台端末をさらに効果的に活用するために

研究指定校で研究を進めています】

児童生徒に1人1台貸与されているタブレット端末を活かし、単元を通して学習したことをデジタルデータとして蓄積し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に行う「New草津型アクティブ・ラーニング」を推進しています。令和6・7年度の2年間は研究を通して情報活用能力をはじめ、言語能力や問題発見・解決能力、数学的思考、創造力やコミュニケーション能力など確かな学力を育成していきます。

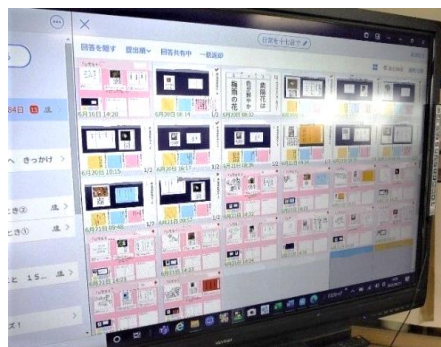
【1人1台端末を、「いつ・どのように使うか」を自ら考える】

児童生徒が文房具のようにタブレット端末を主体的に選択・活用しつつ、自ら問題を発見しその解決に向けて主体的・協働的に学ぶ授業を展開することで、児童生徒の学習意欲を引き出し、学びの質を深化させます。

【研究校（南笠東小学校・松原中学校）から市内各校へ】

講師を招く、先進校の実践を視察するなど、最新の知見を取り入れた研究を進めます。そして、研究を事例集にまとめて発表するなど、市内全小中学校への普及・啓発を行います。

▼タブレット端末の思考ツールを活用した授業



児童生徒の意見や回答を電子黒板で共有することも可能▲

[担当]学校政策推進課
(TEL) 077-561-6981

ホームページ
URL

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/hoikukyoi/ku/shochugakkou/gakkouseikatsu/gakoseisaku240520.html>